

大分大学教育学部附属中学校 令和7年度 教科書用図書採択理由

教科	出版社	採択理由
国語	光村図書	・見開きの『学びの扉』と『学びのカギ』によって、「学びの過程」に沿った学習の流れを見通すことができるとともに、育成をめざす「資質・能力」が焦点化されている。また、『学びの扉』の最後には振り返りのポイントが「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つで示されており、生徒自身が学習を見通し、自身の成長を振り返る自律した学びを実現する手立てがなされている。 ・『学びのカギ』については、領域ごとに一覧になっていることによって、どのような学びを積み重ねてきたのかという既習と今後の学びの両方を確認できる。このことに加え、この『学びのカギ』を全領域で設定したことによって、領域を超えたつながりを見出し、より汎用的な学びの可能性を示す工夫もなされている。汎用性の高い学びの在り方を考えることは、本校の学校教育目標にある「高い学力」に通ずるものであり、目標達成に寄与するものと考えている。 ・思考力や表現力の基盤となる語彙に関する教材が充実している。『語彙ブック』では、文脈の中で言葉を学ぶことができるとともに、「描写」「言動」「思考」の3つに系統立てて整理させていることにより、どの場面でもどのように使う言葉を考え、習得できるようになっている。本校の研究主題である「思考・判断・表現」の育成において、それらの語彙を増やすことは有効であると考えている。 ・QRコンテンツが充実しており、特に『書くことのミニレッスン』や『国語の力だめし』など、一人ひとりの課題に合った学習を進められるようになっている。

教科	出版社	採択理由
書写	光村図書	・教科書のサイズが5mmワイドになっていることで、半紙と同じ比率になっており、字のバランスを見やすくなっている。 ・それぞれのページで学習の進め方として「考えよう→確かめよう→生かそう」が示されており、ステップを踏みながら学習を進めることができるようになっている。「考えよう」では「何をどう学ぶか」「学びのカギ」が示されており、学習内容が明確になっていることで、見通しを持った学習を行うことができるようになっている。このことは、自立した学習者の育成をめざす本校に適したものであり、自身の学習の見通しと振り返りへの手立てとなるものである。 ・本校の生徒は行書を書くことに難しさを感じ、書写への苦手意識が高まる傾向にあるが、「行書スイッチ」で行書を書くために意識すべきことの整理し、QRコードから実際に書くときのテクニックを確認する動画を視聴することができる。 ・「書き初めマスタースブック」や「全国文字マップ」、文字の歴史やフォントについてなどの「コラム」などの内容が充実している。書く力だけを身につけさせるのではなく、文字文化の豊かさに触れることができる内容となっている。

教科	出版社	採択理由
社会 地理的分野	東京書籍	・課題を「つかむ」・「追究する」・「解決する」という構成で章が作られており、課題探究を行う上で非常に見やすく、わかりやすくなっているため、3つの資質・能力を育成する上で、有効である。そのため、生徒が見通しを持った学習に取り組みやすい構成になっている。地理的な見方や考え方を働かせるうえで、本校の目指す主体的で協働的な学びを实践するのに適している。 ・図や資料のレイアウトが見やすく、配置されている事に加え、文字やフォントにおいてもユニバーサルデザインの配慮が行き届いている。そのため、多くの生徒が見やすい構成になっている。また、他分野(歴史的分野・公民的分野)との関わりが明示されており、関連した学習を行うことにも役立てることが出来るため、分野を横断した総合的な考えや問いを考える力を育成する事が期待できる。 ・「資料から発見!」のページでは、多面的・多角的に考えうる資料が示されており、資料を関連付けたり、地理的な見方や考え方を働かせ、思考力・判断力・表現力を育成する上で有効である。これは、本校、社会科が目指す論理的思考力や資料活用力の育成において期待できる。

教科	出版社	採択理由
社会 地図	帝国書院	・SDG'sを意識した様々な資料があり、教科横断的に活用できる教材であると考えたため。特に総合的な学習の時間などでの活用が見込める。このことに加え、長期間の使用に耐えうる性能と素材である事も生徒にとって有意義であると考ええる。 ・地図だけでなく、写真や資料、データが多く含まれており、課題解決学習において、それぞれのページから多面的・多角的な情報収集をすることが出来ると考えられる。また、資料分布の読み取りについて、「地図で発見」というセクションで活用問題的に示しており、思考を深めたり、読み取りのスキルを向上させるうえで有効である。これは、自主的に追究し、考えを深めていく生徒を目指す本校の学校教育目標の達成に適していると考ええる。 ・生徒が地図や資料を活用し、自ら課題を整理し、思考を深めるのを手助けする関連資料が多く、根拠をもって多面的・多角的に資料を分析することに有効である。また、歴史的分野や公民的分野とのつながりも示されており、地理的分野に特化した教材ではないことも有用な点であると考ええる。

教科	出版社	採択理由
社会 歴史的分野	東京書籍	・課題を「つかむ」・「追究する」・「解決する」という構成で章が作られており、課題探究を行う上で生徒が見通しを持った学習に取り組みやすい構成になっている。具体的には、導入時に章を貫く問いで示すことで、単元全体で何を考えていくかをつかみ、1時間ごとの学習課題で自分の考えを練りあげ、まとめていく活動を繰り返すことできる。これにより、歴史的な見方や考え方を働かせ、主体的に考える力をつけていくことにつながる。 ・「地域の歴史を調べよう。」のページでは、具体的なテーマ設定や調査方法、考察、まとめが示されており、地域の歴史学習を課題的に行う際にわかりやすくまとめられている。こうした学習を繰り返していくことで、生徒同士が対話的・協働的な学習を通し、探究し、表現する力の育成につながると考えている。また、豊富な資料が適切な大きさやレイアウトで配置されており、文字やフォントにおいてもユニバーサルデザインの配慮が行き届いている。 ・まとめや振り返りのページについては、様々な思考ツールが示されており、学習した成果をどのようにまとめ、見取っていくかが示されており、取り組みやすいものとなっている。これは、本校の学校教育目標にもある「高い学力」を育成していくうえで有効である。

教科	出版社	採択理由
社会 公民的分野	東京書籍	・各単元では、課題を「つかむ」・「追究する」・「解決する」と構造化され、課題を追及していく流れが整理されている。また、得た知識や自分の思考を整理するための多様なツールでまとめる場面などが複数あり、生徒が自ら課題を整理して、形に残していくことができる。これは、自主的に課題を追究し、解決を目指していく生徒を目指す本校の学校教育目標の達成に適していると考ええる。 ・「もっと知りたい!」のページでは、世の中で起こっている身近な問題を提起しており、単元で得たものを深めるとともに、社会への関心を高めるのに有効である。また、その問題に関して考える問いが設定されており、自分の考えを出すことはもちろん、他者がどのような見方や考え方をもっているのかを多面的・多角的にとらえ、生徒一人ひとりが多様な価値観を享受していくことにつなげていくことに有効である。 ・導入の活動において、生徒の興味関心を引きつけるものが用意されており、単元を進めていくうえで重要なキーワードや考え方を醸成でき、課題意識をもって単元に入ることができる。写真や資料についても豊富なのに加え、QRコードで法令集や動画、チェック&トライなどデジタルコンテンツも充実しており、幅広い知識の習得に有効である。

教科	出版社	採択理由
数学	東京書籍	・QR コンテンツが充実している。特に、ご当地の題材を使った授業展開が可能になり、日常生活と結び付けて問題解決を図れる工夫が施されている。 ・Chromebook を活用した実践事例が充実しており、Chromebook を使用している本校の実態に適している。 ・「問題をつかむ」「見通しをたてる」「問題を解決する」「振り返る」「深める」といった学習過程が可視化されており、生徒の数学的な見方や考え方を働かせられるような問題場面が用意されている。 ・章の問題では、学習内容の振り返りとして基礎・基本を定着させる問題が充実している。また、QR コンテンツを活用することで、ヒントや解答、類題を表示することができるため、自学自習に活用しやすくなっている。 ・章末問題 B（活用問題）において、身につけた知識・技能を活用する問題が多く用意されている。また、「記述式の問題」が豊富に取り上げられており、今年度研究の柱である「思考力・判断力・表現力」を伸ばすための工夫があることため、本校の研究を推進していく上でも適している。

教科	出版社	採択理由
理科	啓林館	・『天気のことわざはあたるの!?』や、『IH 調理器はどうしてあたたまるの?』など、身近な問いから学びがスタートしているため、日常生活との関連を意識し、生徒が理科を学ぶことの意義や有用性を感じられる授業を展開できる。また、内容が単元で完結しており、単元の順序を入れ替えても進めやすい。 ・探究を通して資質・能力を育てるため、1 年次の最初から、課題の把握、追求、解決の流れを意識した探究の学習過程を踏まえた理科の学習が進められるように構成されている。 ・探 Q ラボや導入動画、資料など生徒の探究活動をサポートするツールが豊富に用意されており、単元の最後に探究の力を自由に活用する場面が設定されているので、本校の研究テーマである「思考力・判断力・表現力等」の評価方法の充実が図りやすい。 ・部活ラボ『レイアップシュートのコツ』や、お料理ラボ『ユネスコ無形文化遺産「和食」』など、本校が大事にしている理科の有用性を感じやすいコラムが多く、将来、様々な分野で活躍が期待される生徒たちの学びを社会や未来へ広げやすい構成になっている。

教科	出版社	採択理由
音楽 一般	教育芸術社	・巻頭に各界で活躍する方から中学生へのメッセージがあり、自ら考える力を引き出し、学びに向かう力や「音楽的な見方・考え方」の育成につながる工夫がある。 また、様々なジャンルの音楽や楽器、生活や社会の中の音楽などの掲載もあり、音楽と向き合い、主体的に考えることで、より幅広い価値観を持つことができる。これからの人生における音楽の在り方について考えることができるため、高いレベルで主体的に探究、表現できる生徒を目指す本校の学校教育目標の達成に適していると考ええる。 ・「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」などを各教材に設定し、分かりやすい紙面構成である。また、「考えたいポイント」によって、生徒が課題意識を持つことができ、「見方・考え方」を働かせることで深い学びにもつながる。 ・ICT を活用した授業が行えるよう、二次元コードには学習に役立つ様々なコンテンツがある。自分が必要なタイミングでメッセージを読んだり音源を聴いたりすることができ、曲の理解を深めるのに有効である。音源については、再生部分が一目で分かるよう色が変化していくようになっており、理解しやすい。 ・ICT だけでなくユニバーサルデザイン、SDGs、我が国や郷土の伝統音楽など、今日的な課題に対応しており、様々な分野に興味関心のある本校生徒の実状に合っている。

教科	出版社	採択理由
音楽 器楽合唱	教育芸術社	・巻頭に楽曲それぞれの身に付けられる「資質・能力」「音楽を形づくっている要素」が掲載され、音楽内容との関連度も一目でわかるようになっている。また、「学びのコンパス」によって主体的・対話的で深い学びを実現することができる。 ・練習曲において徐々に難易度が上がり、ワンポイントアドバイスも充実しており、音楽の基礎である「反復」「積み重ね」は技術の向上に繋がり、学びに向かう意欲を高めることができると考える。 ・リコーダーアンサンブルのページでは、様々なジャンルで高度な技術を要する曲が掲載されており、粘り強く練習に励みチャレンジ精神旺盛な本校の生徒の実態に適している。 ・同世代の和楽器の音楽活動を紹介するなど、生徒の多様な興味・関心を引き出し、好奇心に働きかけるような内容となっている。

教科	出版社	採択理由
美術	光村図書	・各題材で、「知識・技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう人間性等」の三つの柱に基づいて学びの目標が生徒向けの言葉で設定されており、制作や鑑賞など様々な場面で生徒の自主的、自発的な学習を促す工夫があり、本校の教育目標のめざす姿に即している。 ・各題材の構成として表現と鑑賞が関連付けて構成され、一つの題材のなかで一体的に学ぶことができたり、参考作品の制作過程や制作の工夫が丁寧に記されたりしているため、生徒自身が主題を生み出し、見通しを持って学習活動に取り組むことができる。また、発想や構想の手立てなどが豊富に掲載されていることで、自ら課題を発見し、表現を追求しやすい。 ・各題材でデジタルコンテンツが多く採用され、わかりやすい解説で、美術が苦手な生徒でも安心して学習活動に取り組むことができる。また、導入部分で対話が生まれるように鑑賞が深まる問いを示していることと、〔共通事項〕を意識した問いかけが設定されていることで、鑑賞活動・表現活動において学びを深めることができる。特に、全国の生徒の参考作品をみることができたり、作者のインタビューや制作過程を知ることができたりすることでも、生徒自身の制作意欲や工夫につなげたり、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・鑑賞活動では、書き込みツールの活用で作品の仕組みや制作意図について体感的に鑑賞することができる。さらに、高精細画像や立体造形物を 360 度全方位から観察でき、作品の全体だけでなく、細部までよく観察できるため、本物の作品の魅力を感じながら、鑑賞を深めることができる。また、鑑賞を広げる言葉集を活用することで、他教科とのつながりを持たせた学習ができたり、見方や感じ方を広げ深めたりすることができる。

教科	出版社	採択理由
保健体育	大修館書店	・各単元が「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」で構成されており、学習の流れが明確に記されている。本文の見出しにおいて要点を簡潔に提示し、扱われている資料も生徒の理解を助けるものとなっている。生徒が学習の見通しを持って取り組めるので本校生徒の実態に合った指導をすることができる。 ・「まとめる・振り返る」内容では、学んだことを日常生活に生かすための様々な課題が設定されており、自分の生活と関連付けられるものや、学んだことを生かして考えるものなど多様である。自ら課題を発見し、主体的・協働的に表現できる生徒の育成をめざすという、本校の学習方針に適している。 ・各章のまとめでは、基本的な「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点に分けて課題を設定されており、これらに取り組むことを通して知識の定着を図りつつ、学習したことを現在や将来の生活に生かすことができる。 ・時代の変化に適応した様々な現代的課題(性の多様性、スマートフォンと健康・安全、SDGs・気候変動など)に即した資料や、それらに対する正しい知識と対処法についても扱っている。また、学びをサポートする「動画コンテンツ」や「Web 保体情報館」など二次元コードを用いたデジタル教材も豊富である。本校で使用しているクロームブックでも活用ができ、作成した内容を共有できることから、本校の生徒の学習実態に適している。

教科	出版社	採択理由
技術・家庭 技術分野	開隆堂	・実践的, 体験的な学習活動を通して, 生活をよりよくしようとする意欲を引き出し, 自ら問題を見だし, 課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように, 工夫されている。 ・各内容で共通して, 社会における技術に気づき, 基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して, 社会や環境と技術とのかかわりについて理解を深められるようにガイダンスのページで技術の見方・考え方を取り上げ, 各内容で深めるようになっている。また, 各内容で実験を通して科学的な視点を育むような配慮がされており, 本校の生徒の興味や学習意欲を高めることが期待できる。 ・各小項目の冒頭に設けられた「学習課題」を通して生徒が授業に積極的に取り組むように配慮されている。また, 適所に配置されている「やってみよう」などの活動を通して, 他者とのかかわりを持ちながら, 技術の理解を深めることができる。各小項目の最後に設けられた「CHECK」によって, 自己の学びを調整し, 深い学びにつながるような工夫が本校の学校の教育目標達成につながると考えられる。 ・各内容の最後にその分野で活躍する方のインタビューが掲載されており, 実際の声をすることで, 技術の未来に課題意識をもち, 自分たちで未来の技術を作っていくという態度を育むことが期待できるため, これから各分野での活躍を期待される本校生徒の実態に適している。

教科	出版社	採択理由
技術・家庭 家庭分野	開隆堂	・中学家庭科として何を学び生活に活かしていくのか主体的・実践的, 体験的な学習活動を通して, 生活をよりよくしようとする意欲を引き出し, 自ら問題を見だし, 課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように, 質問形式などで工夫されている。 ・各内容で共通して, 家庭生活における問題に気づき, 基礎的・基本的な知識の習得を通して, 社会や環境と家庭とのかかわりについて理解を深められるように参考が加えられ, 見方・考え方を取り上げ, 各内容で深めるようになっている。また, 各内容で実験的実践を通して科学的な視点を育むような配慮がされており, 本校の生徒の興味や学習意欲を高めることが期待できる。 ・各小項目の冒頭に設けられた「学習の目標」を通して生徒が授業に積極的に取り組むように配慮されている。また, 適所に配置されている「話し合ってみよう」などの活動を通して, 他者とのかかわりを持ちながら, 家庭生活への理解を深めることができる。各小項目の最後に設けられた「学習のまとめ」によって, 自己の学びを調整し, 深い学びにつながるような工夫が本校の学校の教育目標達成につながると考えられる。 ・食事の役割の中で栄養素の消化と吸収を図式化した「食べ物のはからだのなかでどうなるのかみてみよう」は2年生理科の分野とも関わる図式としても非常にわかりやすく、三大栄養素の消化吸收経路を食生活の中で扱えるようになっている。

教科	出版社	採択理由
英語	三省堂	・小中連携(小中接続)の面から、中学校入学時に小学校の学習内容を振り返るためのコミュニケーション活動(Starter)と絵辞典(My Dictionary)があるため、中学校の内容に言語活動を通して自然に繋げることが可能である。また、絵辞典は Lesson1 以降も繰り返し自己表現に用いることができるよう工夫されている。 ・各レッスン「Part」と「Goal Activity」で構成されており、「Part」で身に付けた知識・技能を「Goal Activity」において思考力・判断力・表現力を習得できるよう段階的な仕組みになっているため、本校の研究テーマに沿った授業を展開することができる。 ・QRコードや「For Self-study」を活用することで、生徒が個別に音声や動画によって発音のチェックが行えたり、効果的な英語の学び方について情報を得たりすることができるため、自律的な学習を促すことができる。 ・各パートにおいて「Small Talk」や「Small Talk Plus」が設定されており、既習事項を用いて1年次より即興でやり取りする力を継続して育成することができる。また「Small Talk」で本文の内容にスムーズに繋げることが可能であるため、4技能5領域を総合的に育成することが期待できる。 ・海外の文化に目を向けさせるような題材と日本の伝統文化や地域の行事など日本の魅力を探究する題材が用意されており、オンライン英会話を年5回実施している本校の生徒にとっては、グローバルな視点で発信力を高めようと意欲的に活動できると考える。

教科	出版社	採択理由
道徳	光村図書	・各学年に応じた人権感覚を養うための教材が多く収録されている。また、教科書の QRコードを読み取ると「世界人権宣言」や「子どもの権利条約」などにも触れることができるようになっている。このような教材に触れ学習することを通して、多様な人々とよりよい社会を築いていくための力を培えるものとなると考えられるので、本校の教育目標の目指す姿に即している。 ・教科書の冒頭部分に道徳の学び方として「自分に問う」「友達と問う」「生き方を問う」が示されている。また、単元末には「問いを立てよう」というページも掲載されており、自分達で問いを立てる活動に生徒自身が挑戦できるものとなっているため、学びを深められると考える。 ・教科書の冒頭には「道徳の学び方」が、巻末の折り込みには「学びの記録」が収録され毎時間の振り返りに活用できるようになっている。また、22の内容項目をイラストで示されていることにより、単元ごとに何を学習するのかが分かりやすくなっているため、本校の重点内容項目を意識して授業を進めることができる。